



月刊音声セミナー

村尾隆介の

出版deブランディング

4

ブランド戦略の専門家 村尾隆介

出版を考えている人、出版をステップに
自分ブランドを強化したい人に贈る、
パーソナルブランディングと出版のノウハウ。
村尾隆介の月刊音声セミナーのテキスト版！



村尾隆介

出版でブランディングするということは、どういうことなのか？小さなブランド専門家として多くの著作を世に出し、出版プロデューサーとしても活躍する村尾隆介が出版とブランディングについて語ります。

出版を思い立ったら、書店へ行こう！

スモールビジネスに注目が集まる

早川　まず、最初にお伺いしたいのですが、最近の書店の傾向で気になったところがありますか？

村尾　手前味噌ですが、村尾隆介コーナーが増えたなど(笑)。本屋さんの方に聞くとタイトルがいいので並べてみると面白いことに気がついた。表紙にこだわっているのが、表紙を並べて行くだけでも華やかになるからこのコーナーに平積みも村尾隆介だけで固めている。ようやく時間をかけて販売をしている本屋さんが気がついてくれるようになったのかなと思いました。それに伴って、小さな会社系のコーナーが増えたんですね。小さい会社をレポートしている本が増えた。これが書店で最近、気がついたことですね。

早川　それはスターブランド、村尾さんが寄与しているということもあると思うんですけども、少し大きく見たときになぜそのような流れが来ているのでしょうか？

村尾　そうですね。今までは経営書は同じ棚にありました。大きな会社も小さな会社も、起業も同じ棚。小さな会社のビジネス戦略と大きな会社のビジネス戦略はやはり違うなと思いはじめた人がいっぱいいるのでそこが細分化されたと思います。もうひとつは、今後10年、20年食べて行くのは厳しいと考えている企業が多いのでまたゼロからつくっていくという傾向にあるんだと思います。これはセミナーも一緒に今では大きな会社の役員が小さな会社向けのセミナーに来るといことがものすごく増えています。市場がどんどん細分化されている今の世の中、大きな会社だからといって大きな戦略を取るということができなくなっている。大きな会社も小さな会社のように考えていくと。1回ブライドとか経験をゼロに戻して小さな会社をやっていくという感じになっている。

早川　それは悪いことではないですよ。

目次

第1章 出版を思い立ったら、書店へ行こう！

スモールビジネスに注目が集まる

政治の話、国家の話が身近になってきた

社会起業家の本が増えたことで考えること

第2章 村尾隆介の未来の本棚

村尾隆介が考える国家戦略とは？

国家戦略が優れているフィンランドとスイス

私が首相になったら

韓国の成長企業サムソンの「すごい研修」

日本には官と民のリボルビングドア(回転扉)がない

第3章 読者の悩みや相談を解消する誌上コンサルティング

ラグビーの本を出版するには？

マーケットを広げるとい発想

第4章 村尾隆介が紹介！ 集中するためのソング

カレッジロックの先駆「R・E・M」

※本テキストは、音声セミナー「出版 de ブランディング」第4号を抜粋・編集して制作したものです。

村尾 全然、いいことだと思えますね。アメリカの本屋に行くともスモールビジネスという棚があるんですね。日本にも同じ棚ができたらいいなと思つて、この活動をやってるので、本当に数パーセントかもしれないませんが一翼を担ってやってきて本当によかつたなと思つています。

政治の話、国家の話が身近になつてきた

早川 日本はもうダメだという国家論と日本は大丈夫という国家論が並んでいて気になるという読者の意見もありますが、これについてはどう思いますか？

村尾 それまでは国に関する本は売れないといわれていて僕も国家ブランディングの本を準備していましたが、自分ごとじゃないと売れないといわれました。やはり国がこういう状態だから皆が自分ごととして国のあり方とかを感じるようになったから国家論の本は増えました。日本大丈夫という本と日本脱出しろという二つの種類の本が売れています。昨日、僕の友人の午堂登紀雄さんは、『[日本脱出](#)』という本を出版しましたけれどもね(笑)。出版社別で見ると面白いかもしれませんが。ある出版社は脱出論ばかり出している。ある出版社は大丈夫論を出している。1社の中で両方出している。帯を見て出す側もあまりわかつていないくて、どっちに山をかけるかなと思いません。

早川 今は国家の話もそうですし、日本人とか誇りという本も増えて来ていますよね。

村尾 ビジュアルとして日の丸を使うとか今までの日本にはなかった傾向ですよね。政治家に頼っている場合じゃない。自分の老後の守り方とか、将来のことを皆が考えなければいけない時代になっています。ある意味、国としては正常な状態ですよね。経済がいいときはあまり考えないものですかね。国の借金が1000兆円を超えて国家破綻も目の前になってきた。今後はそういう本が増えて行くと思いますね。

社会起業家の本が増えたことで考えること

早川 他に村尾さん最近気がついたことはありますか？

村尾 社会起業家の本も非常に増えましたね。震災後、より優しい方向にビジネスが向かっている感じがしますね。金儲けよりも社会に役立つという傾

向に変わっています。ここから世界を相手に闘うとか、ガンガン成長して行くとかそういう系のビジネス書に日本が戻るのかなと思つています。もしかしたら、戻らないんじゃないかなと思つています。

早川 サイクルがあるとおっしゃっていましたよね。震災とか戦争もそうだけれども、そういうときに人が求めるものと、変わってきたときに求めるもの。

村尾 ビジネス書という意味で言えば、ビジネスはモノやサービスを売って生きている。ある意味それが酸素じゃないですか。お店にとつて。社会を救うとか心ばかりでやつては絶対にビジネスは成り立たない。たとえNPOでもNGOでも維持するためには、ある程度収益がないとダメなんである程度、そちらだけではなく強いビジネス系というのも平行して自分の中にノウハウとして溜め込まないと実行して形にしないとうまく行かないのは間違いないですね。

しっかりと営業していくのも考えて行きたいですね。サンプル版はここまでです。続きは、アマゾンにてダウンロードしてお楽しみ下さい。

出版deブランディング第4号【印刷可能PDF版プレゼント付】「Kindle版」

<http://bit.ly/muraosyuppan4>

村尾隆介の音声セミナーが2作同時リリース！

店長たちの「自分ブランド戦略」

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/murao/>

ベストセラー『小さな会社のブランド戦略（PHP）』の著者・村尾隆介は、企業のブランディングのみならず、個人のブランド戦略にも深く関わっています。

過去10年のキャリアの中で、行き着いたひとつの結論は、「店長の姿勢や見せ方次第で大きく変わる」という点です。

キクタスのプロインタビュアー早川洋平さんと軽快なトークで、毎月お届けするこの音声セミナーは、全国の店長やマネージャークラスとして働く社会人、店長を統括する立場にいる方や、小さな会社の経営者の質問から織り成される、いわばオンラインのコンサルティング。

通勤時はこちらのことで、職場で仲間と一緒に聞くのもオススメです。

- この音声セミナーの内容（企画や時期によって変わることがあります）
1. 最近、お店で感じた「GOOD」と「BAD」
 2. オンラインコンサルティング（質問に対する回答）
 3. 明日から取り組めるリーダーシップ
 4. 店長のためのパワーソングの紹介
 5. プレゼントコーナーとエンディング

村尾隆介の「出版deブランディング」

（本テキストのもととなった音声セミナーです）

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/tencho/>

経営者やプロアスリートなどの「個人のブランド戦略」にも深く関わる村尾隆介が軽快なトークで毎月お届けする音声セミナー。「これから出版をしたい！」「出版をしたものの、その後の自分の見せ方に悩んでいる」という全国の方々からの質問を中心に展開をしています。

また、この音声セミナーでは作家・村尾隆介の裏舞台もお見せします。今後の出版計画や、その時代背景、そして制作のノウハウや雰囲気は、ここでしか聞けない話。出版に興味を抱く方には、きっと参考になると思います。

この音声セミナーの内容（企画や時期によって変わることがあります）

1. オープニング…最近、本屋で感じたこと
2. 村尾隆介…未来の出版物（仮題の発表と秘話）
3. 出版に関するリスナーからの質問・回答（オンラインコンサル）
4. 集中心力を高めるためのパワーソングの紹介
5. プレゼントコーナーとエンディング

発行日 2012年7月10日第1版

著者 村尾隆介

執筆協力 宇治川裕

編集協力 三村真佑美

制作 Textrage 編集部

〒244-0804

横浜市戸塚区前田町516-1-B-110

MAIL : tr-inquiry@kigtas.jp

URL : <http://kigtas.jp/>

©2013 Ryu Murao, Printed in Japan

本作品の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などすることは、固くお断りいたします。